

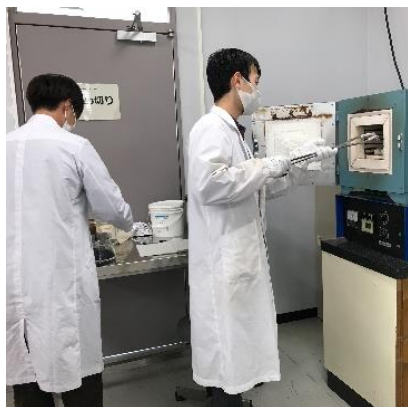
News

応用生命化学実験 I

10月から始まった応用生命化学コース2回生が受講する応用生命化学実験 I のうち、食品・栄養化学研究室の教員が担当する実験も11月で終わりを迎えた。

今回、4回生である私が実験風景の写真撮影に実験室を訪れたときには灰分の測定などを行っており、あれから二年も過ぎたのかと非常に懐かしく感じた。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当研究室の学部4回生は手伝いに参加しなかったが、来年はしっかりTAを務められるように、ソーシャルディスタンスなどを守りつつ、実験風景や方法を目に焼き付けた。

TA 業務に従事していた M1の竹本(M1)は、「みなさんが真面目に取り組んでくれたのでTAとしてのやりがいを感じることができました。学生実験を通して実験技術を高め、たうえで研究室で活躍してほしいと思います。」と振り返った。学部2回生は3回生になると、応用実験に位置付けられる応用生命化学実験 II があるので、基礎実験に位置付けられているこの実験を通じて基本的な実験手技をしっかりとして修得してもらえればと思った。



るつぽを回収しに来た学部2回生とマッフル炉からるつぽを取り出すTAの竹本孝多(M1・右)

ピペットマン掃除

11月某日、皆で研究室のピペットマンを分解して汚れを落とすなどのメンテナンス作業を行った。汚れがたまっているものもあり、普段から使う頻度が高いものだからこそこまめにチェックする重要性を実感した。



ピペットマンのメンテナンス作業を行う中村峻也(B4)。

フリースペース

今月のフリースペースは楊筆(M1)です。もうすぐ年末ということで、中国のお正月について語ってもらいました！

中国のお正月になると、みんな大体大晦日にはかならず一家そろって食事をします。メニューは多少の差はあれど、基本的に鶏肉、魚料理は用意されています。



そして、新年が近づいてきて花火や爆竹で騒がしくなり始めます。

最後に、日本の年越しそばに当たる物が、こちらでは年越しギョーザになります。子供のいる家庭では、ギョーザを食べる前におじいちゃん、おばあちゃんに新年の挨拶をします。その後、子供たちは彼らからお年玉をもらいます。このお年玉のことを压岁钱と言います。



初日には、新しい衣服を着て新年の挨拶回りを始めます。日本で言う「新年おめでとう」、「明けましておめでとう」等の言葉に相当するのが、新年快樂です。

原著論文

Yuki Yonekura, Hikari Ueno, Ken-ichiro Minato, Masashi Mizuno. Polysaccharides from *Pyropia yezoensis* f. *narawaensis* ameliorate type I hypersensitivity through the secretion of interleukin 10. *Food Science and Technology Research*, 26(6), 847-854, 2020.

編集後記

11月後半になってから一気に冷え込んできたように感じています。新型コロナウイルスの感染も拡大してきています。ただでさえ気温の変化等で体調を崩しやすい時期なので、引き続き手洗いうがい換気などできる対策を講じ、コロナ感染予防に努めたいと思います。

吉田 亘志(B4)